

令和3年度石川県専門的看護実践力研修事業 【摂食・嚥下障害看護】実施報告

【摂食・嚥下障害看護】の分野における研修が
10月6日・13日・22日・11月5日・6日・12日（計6日間）
金沢医科大学病院で開催されました。



新型コロナの感染状況を鑑み、集合研修とオンライン研修のハイブリッド形式で開催しました。

摂食嚥下のメカニズムから摂食嚥下障害のスクリーニング法、理学療法士や作業療法士、言語療法士によるアプローチの方法など、多職種も含めた専門分野からの講義を踏まえた上で、演習や事例検討会を行いました。現場で頑張っている方々の熱意に刺激を受け、明日からの「活力」になる等の力強いご意見も多くいただきました！



[詳しい研修プログラムはこちら →](#)

実際にベッドでのポジショニングや車いすでのポジショニングを体験することによって背抜きがわかり、枕や足底枕を設置することで食べやすい姿勢で体幹が安定することがわかりました。



自分の考えや学びをグループワークで共有することができました。また、事例をとおして他施設の取り組みや悩みも聞けて、交流の場としてとても良かったです。



先生方の講義を聞き、私自身、胃瘻に疑問があったが、在宅に向けては決してそうではなく社会復帰のひとつだと知って、価値観がひっくり返った思いでした。ありがとうございました。

